

2025 年度 傾斜的研究費（全学分）国際研究環支援 研究報告書

※本学 HP での公表を前提に記入してください。

【研究費区分】：国際研究環支援

【研究代表者所属】：都市環境学部建築学科

【研究代表者氏名】：伊藤喜彦

【研究代表者氏名フリガナ】：イトウヨシヒコ

【研究代表者職】：准教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

増田哲子	北海道大学・准教授
久米順子	東京外国語大学・准教授
松原典子	上智大学・教授
川瀬佑介	国立西洋美術館
Susana Calvo Capilla	マドリッド・コンプルテンセ大学准教授

【HP（*本研究の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

・なし

【活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（800～1000 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

本プロジェクトは、「中近世イベリア半島の視覚文化と物質文化―「他者」への視線、「他者」からの視線に着目して―」と題し、国内外のスペイン建築・美術研究者による研究上のネットワークを強化することを目論んだものである。2025 年度に計画通り三つの主要活動を実施した。

2025 年 7 月 17 日、研究グループ（研究代表者・伊藤喜彦〔東京都立大学〕、増田哲子〔北海道大学〕、久米順子〔東京外国語大学〕、松原典子〔上智大学〕、川瀬佑介〔国立西洋美術館〕、スサーナ・カルボ・カピーリャ〔マドリッド・コンプルテンセ大学准教授〕）によるオンライン・ワークショップを開催した。各自が専門領域における「他者性」をめぐる研究動向を報告し、国際シンポジウムに向けた問題意識の共有と議論の深化を図ることができた。

2025 年 10 月 4～5 日、上智大学においてスペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウムを上智大学にて開催した。本支援金によりカルボ博士を招聘し基調講演「アル＝アンダルスの建築とその遺産―中世地中海世界への寄与と共有された言語」を実施したほか、グループ・メンバーが研究発表およびコメントを行い、中近世イベリアの美術・建築と「他者性」をめぐる諸問題について、積極的に討議した。また、カルボ氏の滞在中、研究代表者とともに京都において同志社大学の阿部俊大氏（中世スペイン史）との学術交流を行い、大阪大学の岡田裕成氏（近世スペイン美術史）の招きによるレクチャー「The Muslim Minority in the Iberian Christian Kingdoms of the 15th Century: Mosques as Testimonies to Their Culture and Religious Practices」も実施した。これにより、当初の研究組織の枠を超えた国内研究ネットワークへの展開がもたらされた。

2026 年 3 月 4 日には、研究代表者がマドリッド・コンプルテンセ大学に招聘され講演を行った（題目：

「Contextualizar la arquitectura altomedieval hispana en el marco del Mediterráneo occidental: Cerdeña, Sicilia y otras tradiciones constructivas」)。講演後にはスペインの他の研究者とも直接意見交換を行った。

以上の活動を通じ、国内 5 名・海外 1 名から成る研究グループが有機的に機能し、当初の想定を超えた国内外のネットワーク拡張が実現した。現在、上智大学でのシンポジウムの講演と研究発表をまとめた論考集の編集が進められており、刊行に向けた準備が着実に進展している。今後も国内において本研究グループを基盤とした研究協力を進めるとともに、カルボ氏との継続的な協働を軸に、欧州の中近世美術史・建築史やイスラーム美術史・建築史の研究者との国際連携をさらに強化していく予定である。

【学会発表（発表題目，発表大会名，年月を記入）】

- 伊藤喜彦「建築は文明の衝突の夢を見るか？—初期中世イベリア半島建築（7-10 世紀）における文明の衝突、そして建築史研究における文明観の衝突—」九州大学 地中海学会大会シンポジウム『地中海における文明の衝突』、2025 年 6 月 22 日、於九州大学
- 伊藤喜彦「サンタ・マリア・デ・メルケ(トレド県)と西地中海世界の初期中世建築における伝統と刷新」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウム、2025 年 10 月 4 日、於上智大学
- Yoshihiko Ito, “Contextualizar la arquitectura altomedieval hispana en el marco del Mediterraneo occidental: Cerdeña, Sicilia y otras tradiciones constructivas”, *Seminario de estudios en arte medieval español: INVESTIGACIÓN, DOCENCIA Y DIVULGACIÓN DEL ARTE MEDIEVAL ESPAÑOL. ACTUALIDAD Y PERSPECTIVAS*, Universidad Complutense de Madrid, 2026 年 3 月 4 日、於マドリッド・コンプルテンセ大学
- Yoshihiko Ito, “Between Continuity and Pause: Late Antique and Early Medieval Churches in Sardinia”, 2026 年 3 月 30 日、於アテネ・Athens Institute 第 19 回地中海学国際学会パネル発表〔国際情勢の関係でオンライン発表に切り替え〕
- 久米順子、イサーク・アイト・モレーノ「フアン・ヘノベス《抱擁》とスペインの民主化」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウム、2025 年 10 月 5 日、於上智大学
- 松原典子「近世スペインの「受難の画布（sarga o velo de pasión）」—エル・エスピナル聖堂のアロンソ・サンチェス・コエーリョ作品を中心に」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウム、2025 年 10 月 5 日、於上智大学
- Susana Calvo Capilla, "The Architecture of al-Andalus and its legacy: Contributions and shared languages in the Medieval Mediterranean" スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウム、2025 年 10 月 4 日、於上智大学
- Susana Calvo Capilla, “The Muslim Minority in the Iberian Christian Kingdoms of the 15th Century: Mosques as Testimonies to Their Culture and Religious Practices” 招待レクチャー、2025 年 10 月 8 日、於大阪大学
- Susana Calvo Capilla, “Partages, Réutilisations et survivances d’al-Andalus”, at Round Table: *Architettura e arte religiosa in condivisione. Influenze, riutilizzazioni e realizzazioni contemporanee; Luoghi Sacri Condivisi: Viaggio tra le religioni* (09/10/2025 al 09/01/2026) organized by l’Ambasciata di Francia presso la Santa Sede, l’Accademia di Francia a Roma-Villa Medici e il Museo delle civiltà dell’Europa e del Mediterraneo. Jan. 9, 2026, MAXXI Museo nazionale delle arti del XXI secolo, Rome. <https://www.ifcsl.com/centre-saint-louis/arte-architettura-e-museografia-dei-luoghi-sacri-condivisi-approccio-storico-e#/>
- Susana Calvo Capilla, “De Tinnal a Sevilla. Evocaciones del califato cordobés en las mezquitas almohades”, at Congress *Spolia entre contextos El legado de los Omeyas en el Mediterráneo*, Madrid, 24-26 de abril de 2025, Centro de Ciencias Humanas y Sociales (CCHS)-CSIC.
- Susana Calvo Capilla, “El contexto religioso, de Ibn Tūmart a Bernardo de Claraval”, Invited lecture at *Simposio Tyrris Fortissima*, organizado por el Cabildo de la Catedral de Sevilla en colaboración con la Cátedra Magna

Hispalensis de Fe, Arte y Cultura de la Facultad de Teología San Isidoro de Sevilla, Catedral de Sevilla, 19 y el 21 de noviembre de 2025.

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

- Ito, Yoshihiko, "Old Columns, New Architecture: Spolia Columns and the Edges of Colonnades in Early Medieval Iberia", *Architectura*, vol.52, 2025, pp. 24-47.
- 伊藤喜彦「13 世紀イベリア半島における大聖堂の建設：継承と刷新」『スペイン・ラテンアメリカ美術史研究』 vol.26, 2025, pp.19-34.
- 五十嵐太郎（監訳）伊藤喜彦ほか（訳）『図鑑 建築全史』東京書籍, 2025.（共訳）
- 深見奈緒子・伊藤喜彦ほか（共同監修・共著）『建築知識』特集：イスラムの建築と街並み図鑑, エクスナレッジ, 2025.7.
- 伊藤喜彦「書評 嶋崎 礼『ゴシック建築の考古学—トリフォリウムからみる建設技術史』」『建築史学』 2026.3, pp.75-86.（書評）
- 久米順子「「アルフォンソ 10 世とその時代：独創と継承」趣旨説明」『スペイン・ラテンアメリカ美術史研究』 26, pp. 71-72.
- 久米順子「Molina Figueras, Joan (ed.), *El Espejo perdido. Judios y conversos en la edad media* (= *The Lost Mirror. Jews and Conversos in Medieval Spain*), Madrid, Museo Nacional del Prado, 2023」『西洋中世研究』 17, pp. 168-169. [新刊紹介]
- 松原典子「近世スペインの木製祭壇衝立の彩飾と金箔師をめぐる一考察」『美術史研究』第 63 冊、2025, pp. 77-84.
- Susana Calvo Capilla, "La mezquita aljama de Toledo", *Primada. VIII Centenario de la Seo Metropolitana*, Catálogo de la exposición, Toledo, 2026, pp. 4-7.
- Susana Calvo Capilla, "Stones moved from their time: historical and political cross-legacies in the Almohad Mosque of Seville.", in *The Medieval and Early Modern Iberian World*, Brill, 2026, in press
- Susana Calvo Capilla, "El movimiento almohade: contexto religioso de la doctrina de Ibn Tumart", in Martínez Moya, E. (coord.), *Tvrris Fortissima 2015-2025*, Sevilla, Cabildo Catedral Metropolitano de Sevilla, 2025, pp. 44-67.
- Susana Calvo Capilla, «Mezquitas, iglesias y sinagogas: coexistencia y reutilización de los espacios religiosos en la sociedad medieval hispana», in F.P. Tocco (ed.), *Governare la multiculturalità nel Medioevo. Centro Studi Ruggero II*, 2025, pp. 87-114.
- Susana Calvo Capilla, "Mosque of Córdoba." *Oxford Bibliographies Online in Architecture, Planning, and Preservation*. 2025. doi: 10.1093/obo/9780190922467-0109

【学術会議開催実績報告】

* スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会 30 周年記念シンポジウム（2026/10/4-5）於上智大学
Susana Calvo Capilla 博士を招聘、基調講演を行って頂いた。

* *Seminario de estudios en arte medieval español: INVESTIGACIÓN, DOCENCIA Y DIVULGACIÓN DEL ARTE MEDIEVAL ESPAÑOL. ACTUALIDAD Y PERSPECTIVAS*, Universidad Complutense de Madrid, 2026/3/4、於マドリッド・コンプルテンセ大学
研究代表者が招聘され、基調講演を行った。

（※国際学術会議にあたるものには「・」を「＊」にすること。）

【海外研究者の招聘実績】

- ・ Susana Calvo Capilla 博士（スペイン）、2025 年 10 月

【外部資金への応募状況】

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費，企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ 科学研究費基盤（B）（2026-採択）

【受賞等】

・

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献，生涯学習支援・普及啓発，国際貢献・国際交流等]

・

【研究成果による特許等の産業財産権の出願・取得状況】

（産業財産権の種類，名称，出願番号，出願年月日）

・

【研究分担額】

（研究代表者・分担者名,所属,金額（円））

- ・ 伊藤喜彦・東京都立大学都市環境学部建築学科（Susana Calvo Capilla 博士招聘費用含む）が全額使用。ただし中東情勢の関係で予定されていたアテネ出張が実現しなかった。